

3月定例会より



平成21年度予算決まる!

平成21年第1回定例会では、平成21年度予算をはじめとする市長提出議案37件と議員提出議案11件、陳情5件を審議しました。また市長からは平成21年度における基本的施策が述べられ、小林いちゆき議員が代表質問を、おぎくぼ貞寛議員とたちばな正俊議員が市政全般にわたる一般質問を行いました。また内藤みき子議員が「平成20年度一般会計補正予算(第6号)」と「平成21年度調布市用地特別会計予算」について、公明党を代表し討論を行いました。

代表質問

小林いちゆき 議員

行動するのは今 変革に果敢に挑戦を!

平成21年度における市長の基本的施策に対し、公明党を代表し平和・人権、予算編成、市民生活支援・経済対策など、34項目にわたり多彩な分野での質問を行った。特に、21年度で「妊産婦健診の拡充」「定額給付金による市民雇用」「プレミアム付き共通商品券の発行」「公共工事の市民受注機会拡大」「保育園の待機児解消対策」等、予算に盛り込み実現させることが出来ました。



一般質問

おぎくぼ貞寛 議員

市民斎場建設に一定の決断を!

平成18年度開設の計画で進められてきた市民斎場が、用地を購入し終えたところで、今は何事もなかったように現在の基本計画から除かれている。この市の不可解な取り組みを問題視して「当初の計画を断念するのか、計画の修正を行うのか決断をすべき」と迫りました。これまで公明党は、高齢社会の進展のなか、住宅や駐車場事情で自宅での葬儀が執り行えない状況を踏まえ斎場建設を強く求めて参りました。



一般質問

たちばな正俊 議員

市は保育園の待機児問題に緊急対策を打て!

一向に解消することの無い保育園の待機児童に対し、全待機児を一時緊急預かり出来る施設対応や、市が主体となり「保育ママ」制度の拡充を強く求めた。また、地球温暖化対策の視点から「校庭・園庭の芝生化」の進行具合と更なる推進、太陽光発電やLEDを積極的に取り入れ、CO2の削減を求めた。更に調布市の都市美化推進の観点から「歩きタバコ」に対する市の取組みと見解を求め、益々の美化運動の推進を求めた。



一般質問

内藤みき子 議員

定額給付金を一日も早く支給を!

平成20年度一般会計補正予算に対し、公明党を代表し賛成の立場から討論を行いました。「定額給付金」は100年に一度ともいわれる未曾有の経済危機の中、市民への緊急生活支援と地域経済を下支えする効果をもたらすものである。今、地方に於いてなすべき事は「定額給付金」を待ち望んでいる市民に速やかに給付し、個人消費を喚起すること。一日も早く安全に、そして確実に市民に給付されることを強く求めました。



くらし・市への要望等お気軽にご相談ください!



たちばな正俊
090-8119-1492



おぎくぼ貞寛
090-2553-7958



内藤みき子
090-8178-2211



福山めぐみ
090-8518-2559



小林いちゆき
090-9808-8380